

米國のトランプ大統領訪日は東京を大騒動に陥れたり。両國首腦のツイートも頻繁なりき。ハワイに寄りし後の訪日なるが、トランプは日本による眞珠灣攻撃の犠牲者の慰靈碑に獻花し、その後「リメンバー・パールハーバー」といふツイートをしき。トランプは戦後のベビーブーマーなるが、一体いかなる意味にてツイートをせしや。その事に關し日本のメディアはさほど大きくは取り上げざりき。「眞珠灣を忘るな」、第二次大戦中に米國民を戦争遂行に動員する標語として使はれし等とありしのみ。

一九六〇年代前半米國におきての「リメンバー・パールハーバー」はさる「忘れてはならず」等と言ふがごとき生易しきものにはあらざりき。中學一年生にて、父親の赴任地米國へ渡りしが、この言葉は日本人を侮蔑する時に唾をはくやうに使はれし印象強し。十二月近くと登校するが憂鬱になるほど嫌悪感を抱かではならずと當時ワシントンに住みたりし日本人の多くの友人たちは言ひてあり。當時は日本人居住する能はざる住宅地あり。そはその住宅地所有する人物の親戚日本の眞珠灣攻撃にて亡くなりし事に起因す。一人の友人は、教師より「我が可愛がりし甥眞珠灣にて落命したれば」けつして日本人は許さず。君には落第點を付く」と言はれ、實際にさうせられき。自分はそこまではせられざれど、同級生の數人よりはかならず「黄色い卑怯者」と言はれき。そは脈々と受け繼がれ、數年前に米國の大學に通ひたる若き友人も十二月近くと登校拒否になりきと言ひたり。戦後七〇數年経過しても、いまなほ言はるるか愕然となり。無論全て米國人さにあらず。

米國在居中、その言葉をかけらるるたびに廣島長崎はいかならんと思へど、敗戦國なれば當然の「戒め」なりと言はるれば、いと不快なれと言ひ返すに由なし。當時は多勢に無勢にて日本人は殆どあらざりき。

日米安保條約の下、日本の閣僚たちいかに思ひたりやは知らざれど、テレビなどを見る限りにてはトランプに對して甚だ卑屈になり、ゴマする必要いづこにありやと考へ込まざるを得ざる米國大統領の訪日なりき。

(平成二十九年十一月二十日受附)